

産業廃棄物実態調査結果（令和4年度実績）について

産業廃棄物の排出抑制、適正処理及びリサイクルを推進するための基礎資料とすることを目的に、県内で発生した産業廃棄物の排出、処理状況等の実態を調査しているが、このたび、令和4年度の結果を取りまとめた。

1 調査方法

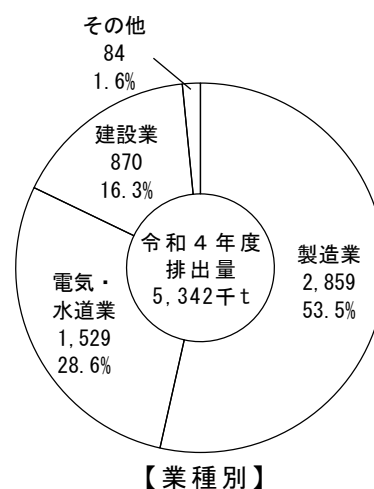
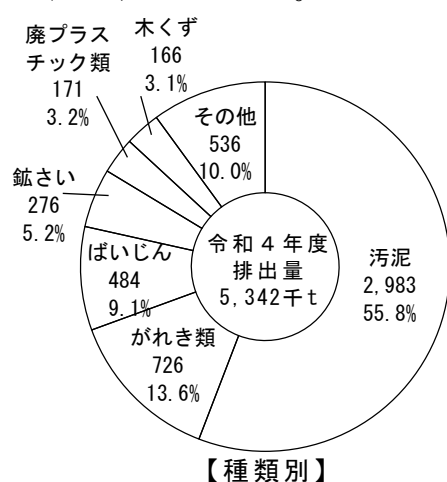
令和4年度に県内で発生した産業廃棄物について、産業廃棄物多量排出事業者からの処理計画や実施状況報告、産業廃棄物処理業者からの処分実績報告を用いて排出量等を推計した。

2 調査結果

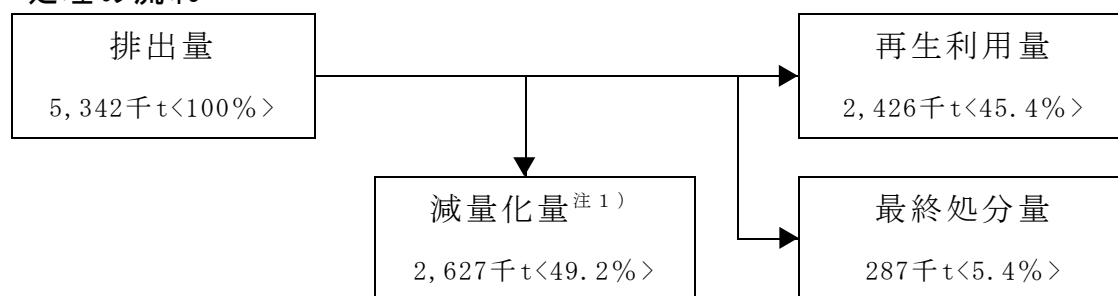
(1) 種類別・業種別排出状況

排出量の総量は5,342千tであり、種類別では、汚泥が2,983千tと全体の55.8%を占め、次のがれき類が726千t(13.6%)、ばいじんが484千t(9.1%)と続いている。

業種別では、製造業が2,859千tと全体の53.5%を占め、次に電気・水道業が1,529千t(28.6%)、建設業が870千t(16.3%)と続き、この3業種で全体の98%を占めている。



(2) 処理の流れ

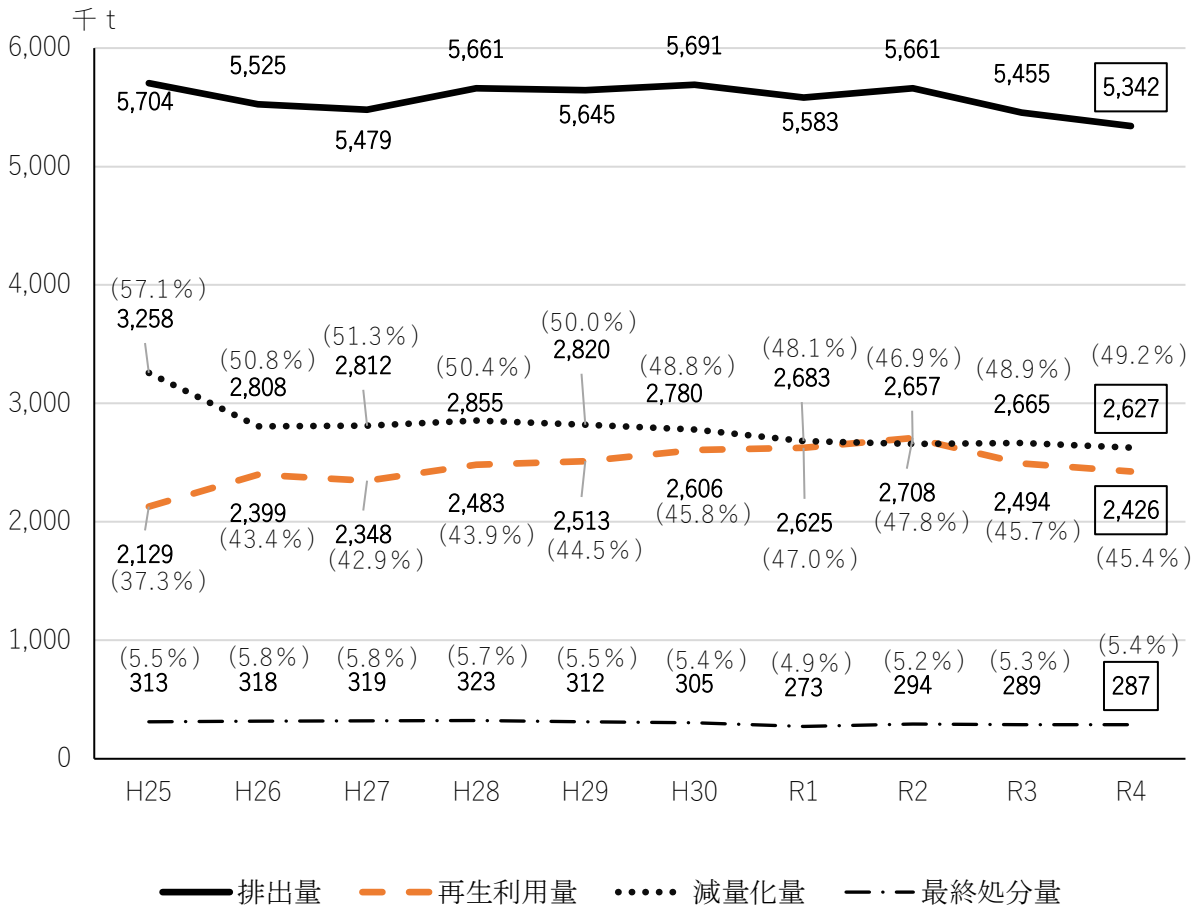


注1：焼却等の中間処理により減少した量

注2：保管中など処理未完了のものがあるため合計は合わない。

< >内は、排出量に対する割合

3 処理状況の推移



注：()内は、排出量に対する割合

4 第5次岡山県廃棄物処理計画（令和3～令和7年度）の目標との比較

区分	項目	排出量	再生利用率	最終処分量
第5次計画目標値 (目標年度：令和7年度)		5,626千t/年	47.0%	271千t/年
令和4年度実績 (目標値との比較)		5,342千t/年 (-284千t/年)	45.4% (-1.6%)	287千t/年 (+16千t/年)
達成状況		<目標達成>	<目標達成できず>	<目標達成できず>